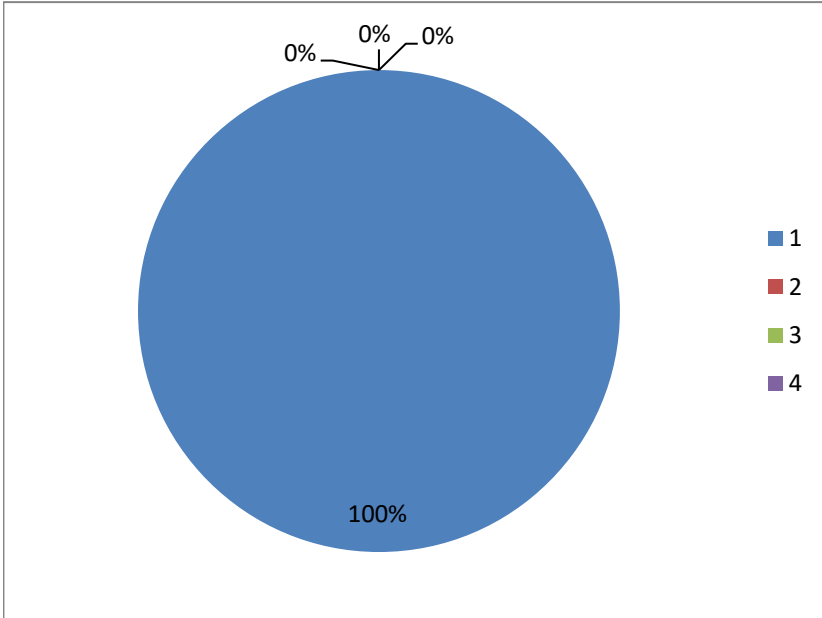


平成29年度 愛ベリー放課後等デイサービス事業所  
 保護者向け 放課後等デイサービス評価表

配布13 回答11 回収率85%

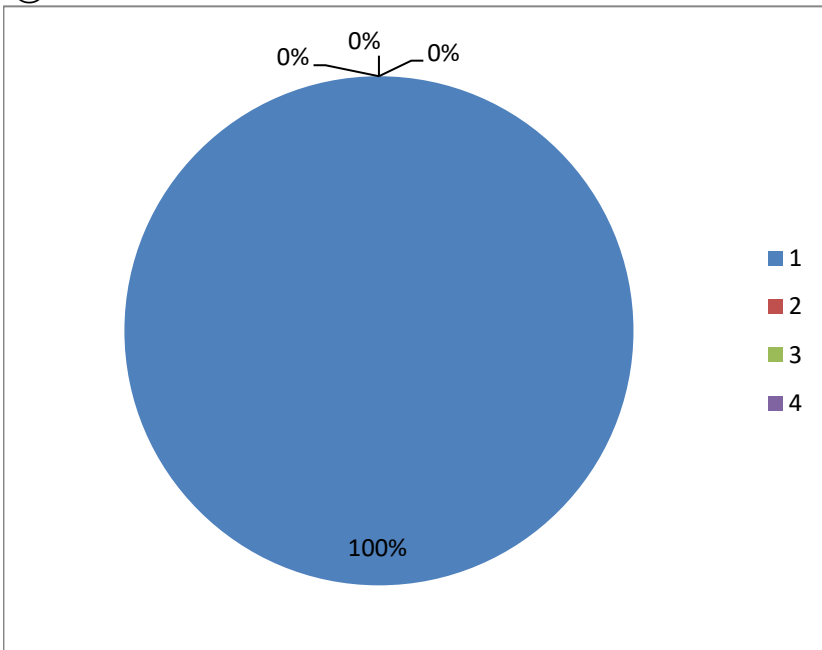
【環境・体制整備】

①子供の活動スペースが十分に確保されているか



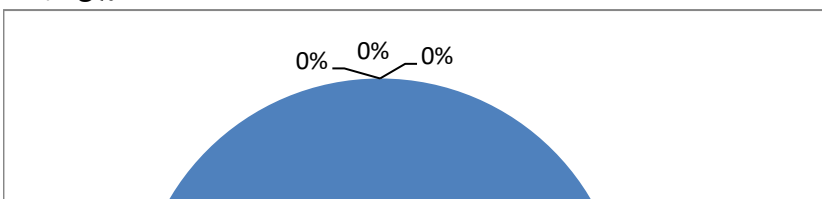
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
無回答	0

②職員の配置数や専門性は適切であるか

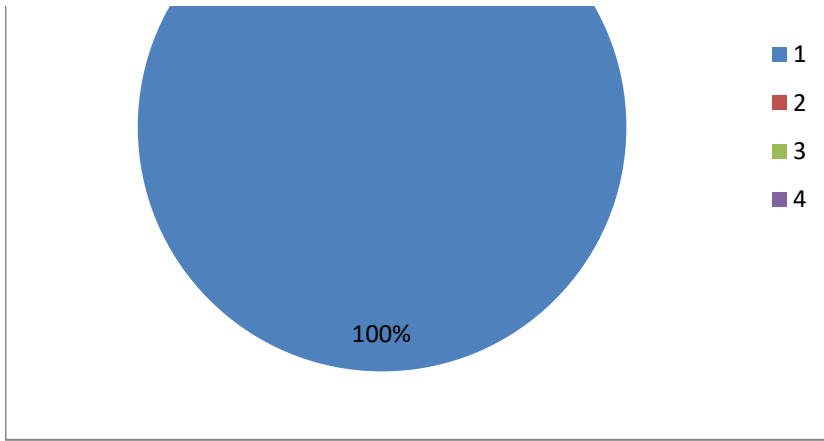


はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
無回答	0

③事業所の設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか



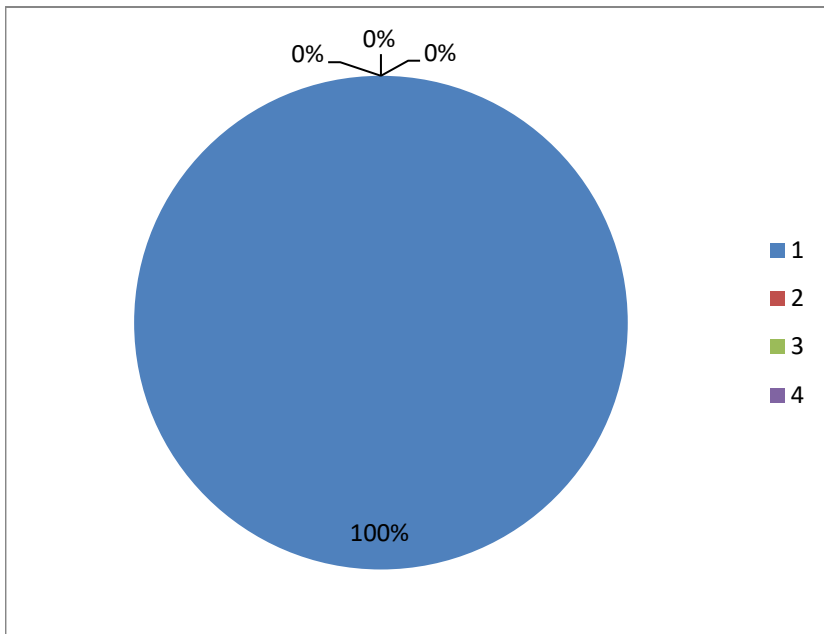
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0



無回答 0

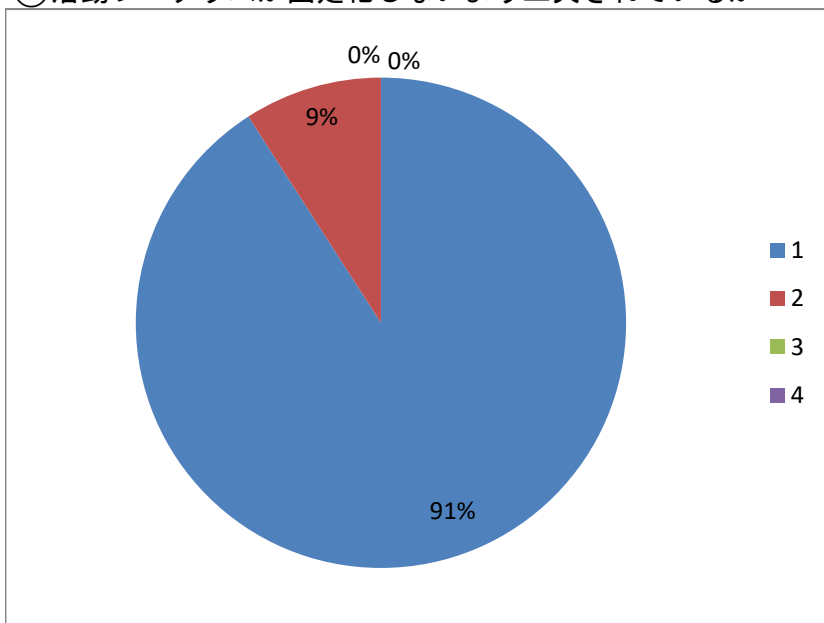
【適切な支援の提供】

④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか



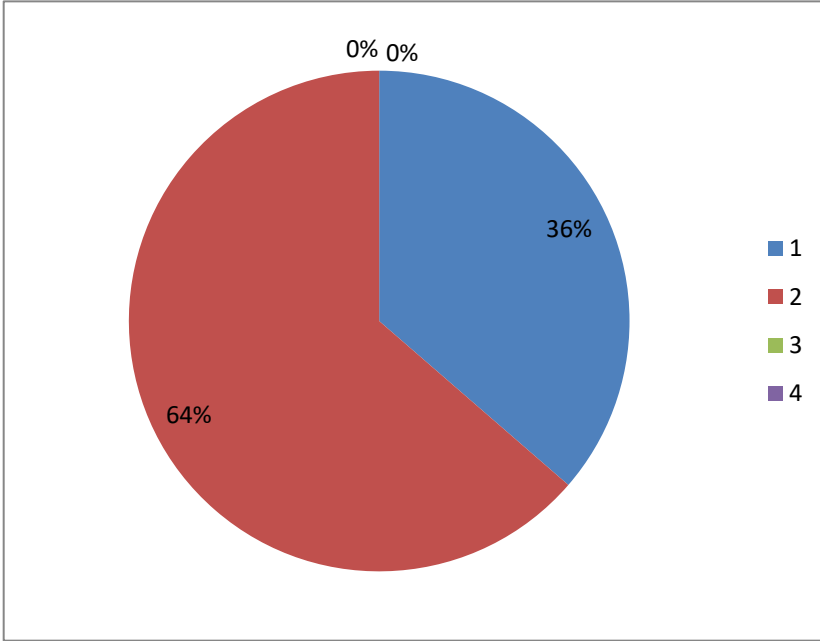
はい 11  
 どちらともいえない 0  
 いいえ 0  
 無回答 0

⑤活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか



はい 10  
 どちらともいえない 1  
 いいえ 0  
 無回答 0

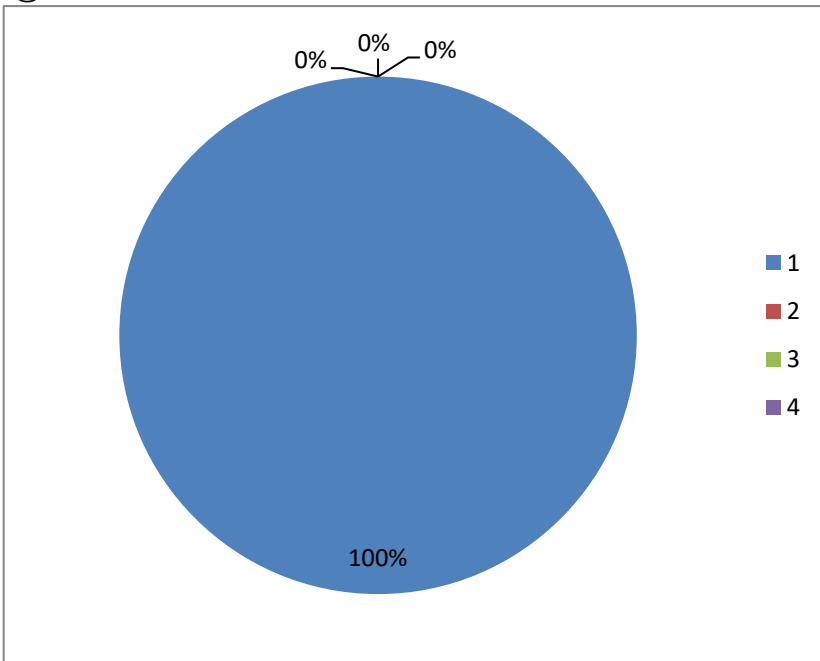
⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか



はい	4
どちらともいえない	7
いいえ	0
無回答	0

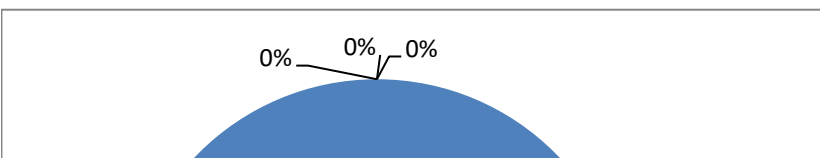
【保護者への説明等】

⑦支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか

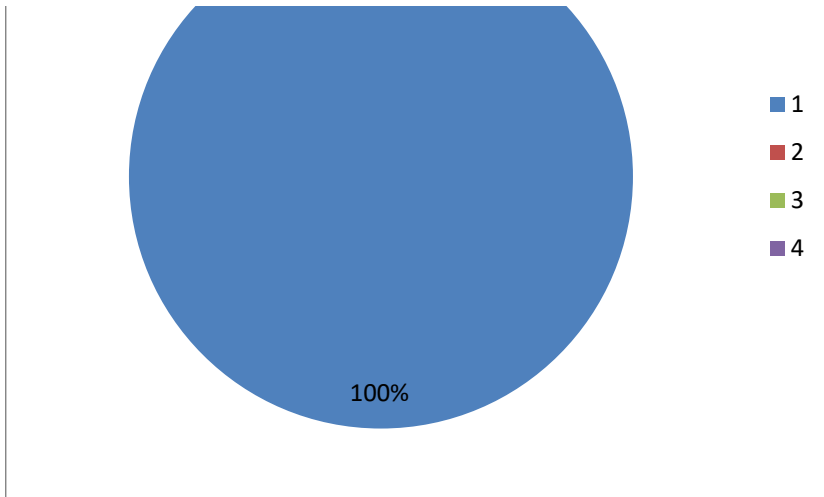


はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
無回答	0

⑧日ごろから子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解ができているか

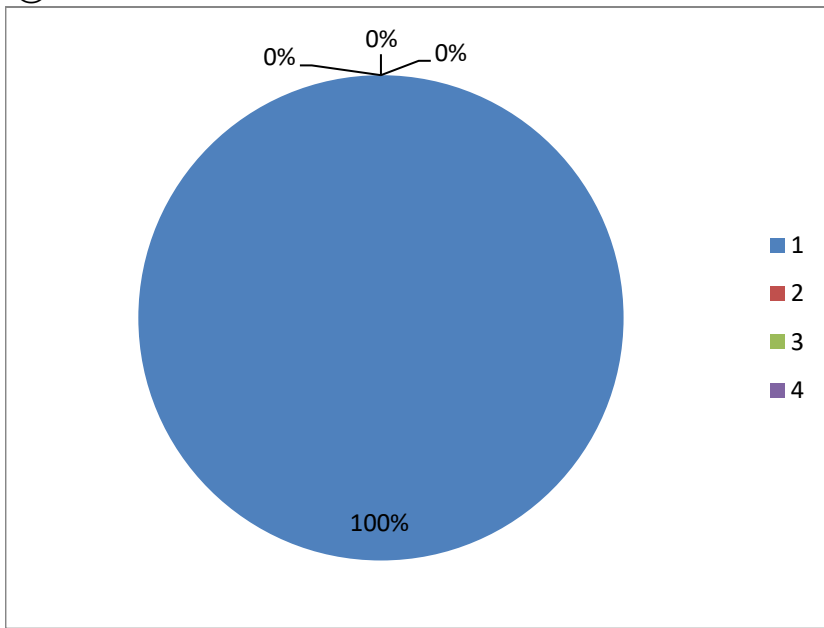


はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0



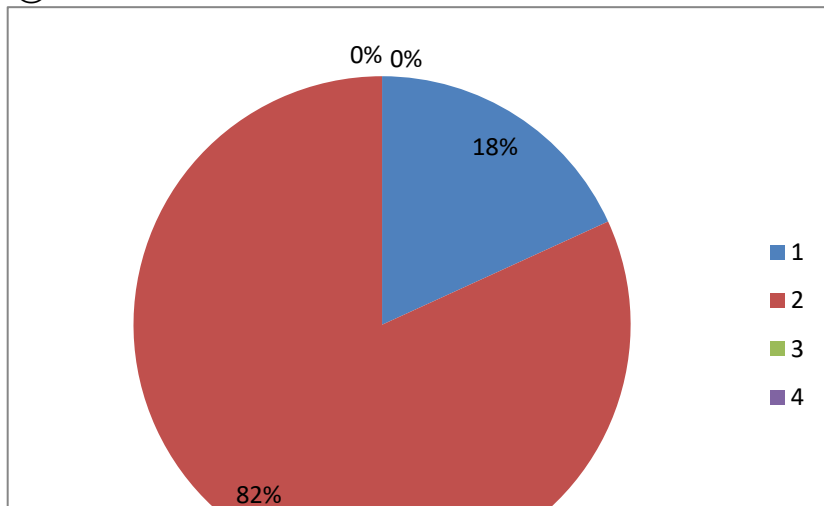
いいえ 0  
無回答 0

⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか



はい 11  
どちらともいえない 0  
いいえ 0  
無回答 0

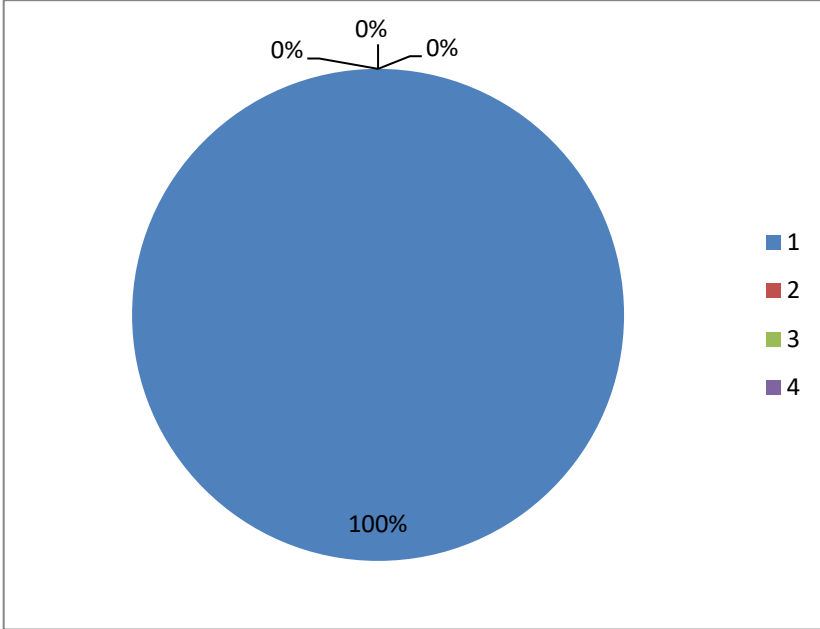
⑩父母の会の活動支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか



はい 2  
どちらともいえない 9  
いいえ 0  
無回答 0

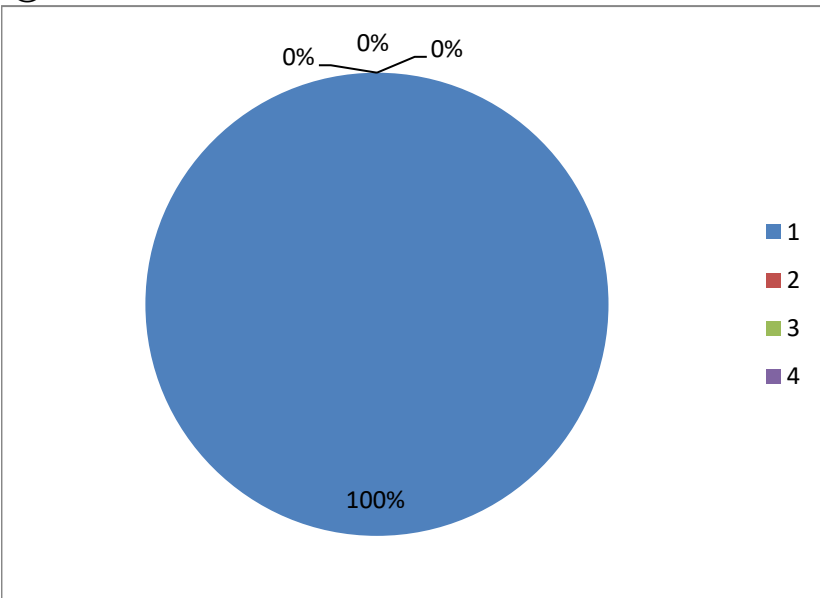


⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか



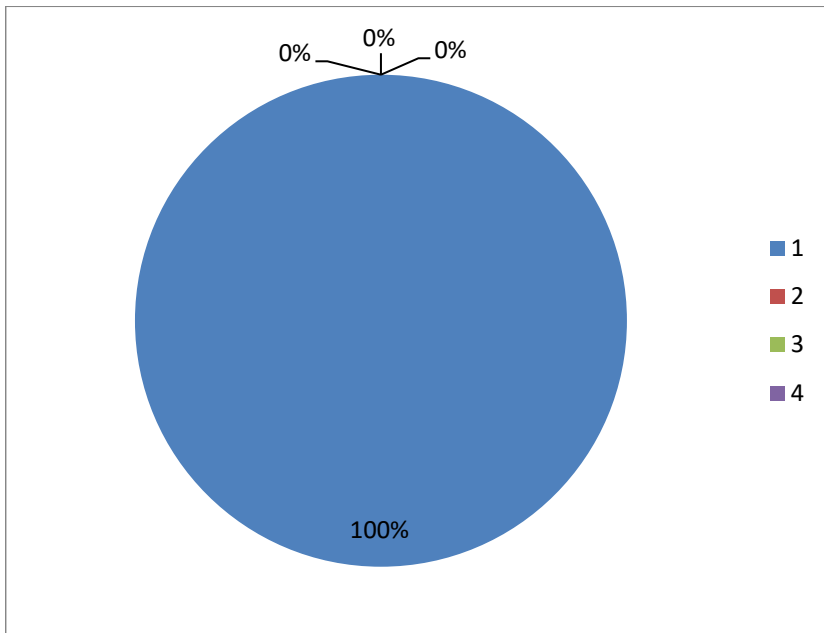
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
無回答	0

⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達ための配慮がなされているか



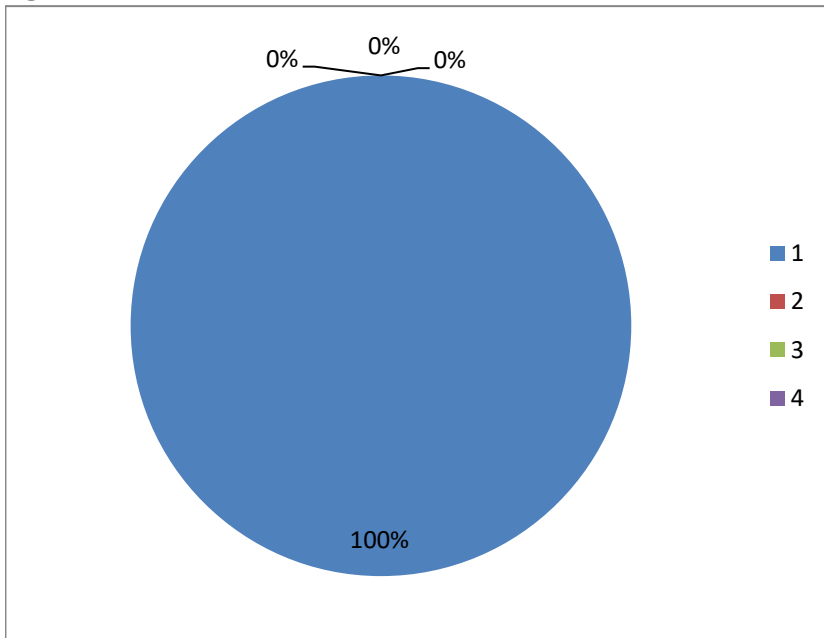
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
無回答	0

⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか



はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
無回答	0

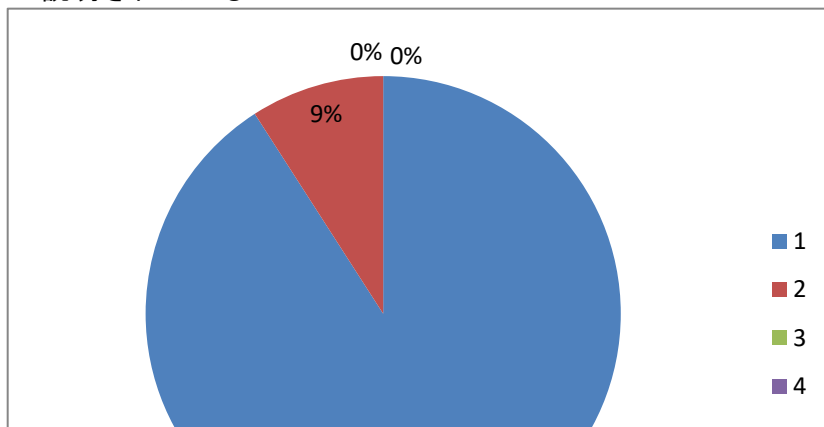
⑭個人情報に十分注意しているか



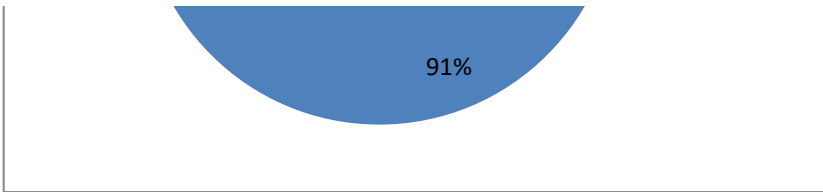
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
無回答	0

【非常時の対応】

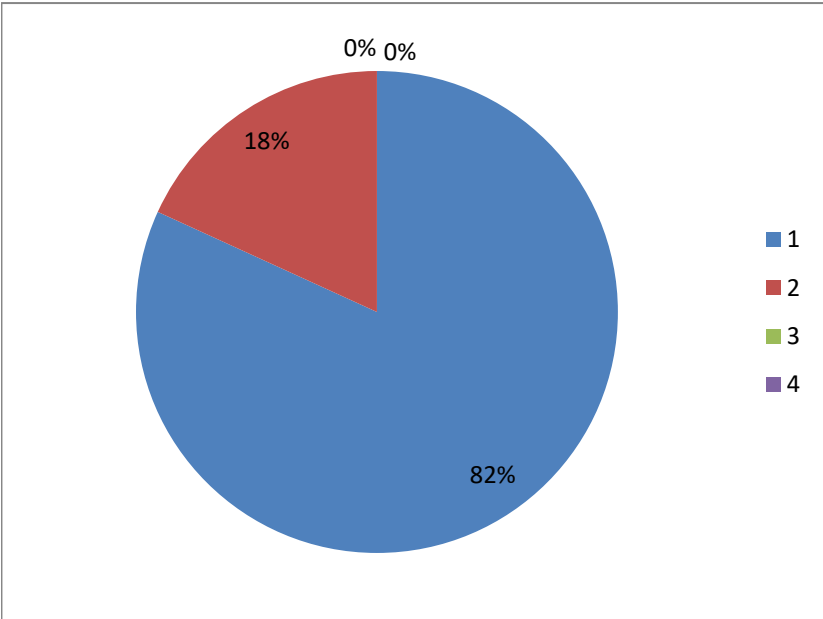
⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか



はい	10
どちらともいえない	1
いいえ	0
無回答	0



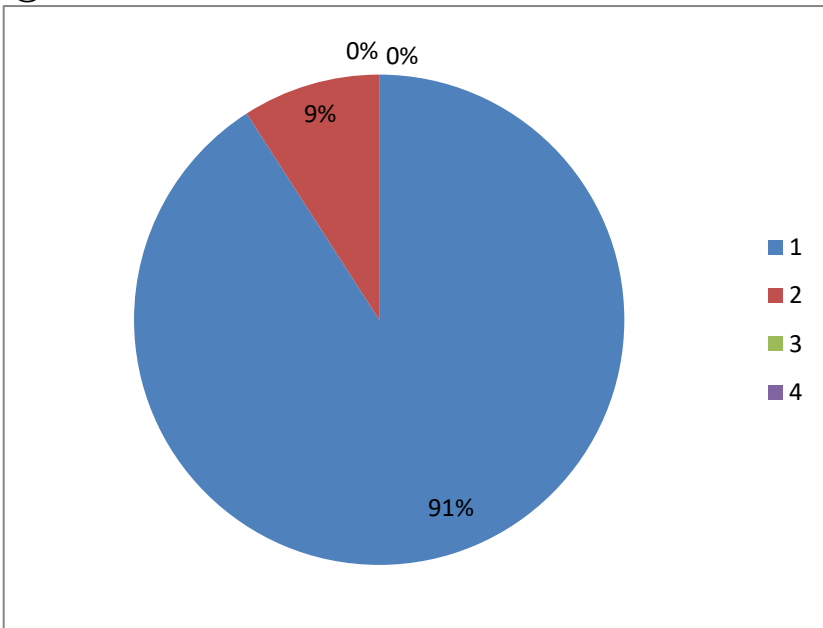
⑩非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか



はい	9
どちらともいえない	2
いいえ	0
無回答	0

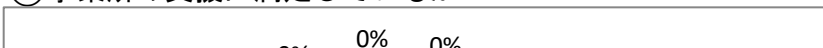
満足度

⑪子どもは通所を楽しみにしているか

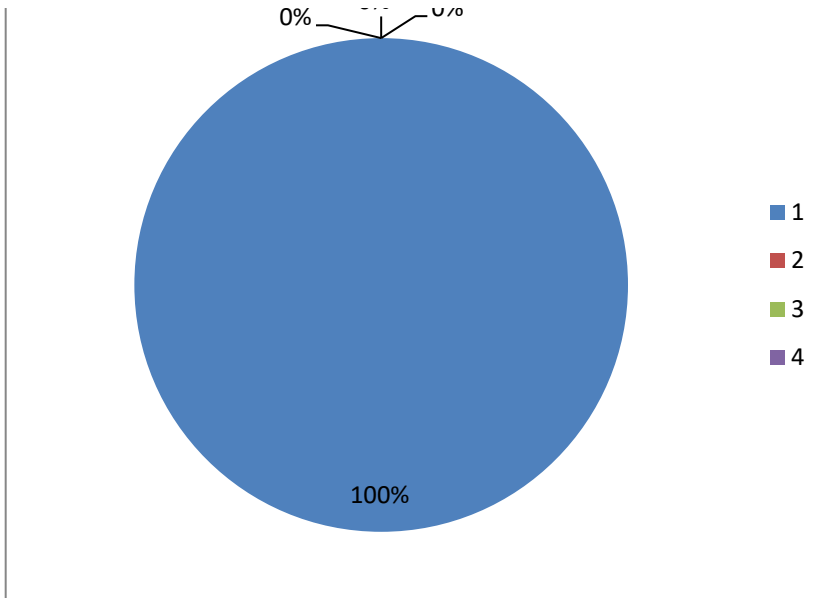


はい	10
どちらともいえない	1
いいえ	0
無回答	0

⑫事業所の支援に満足しているか



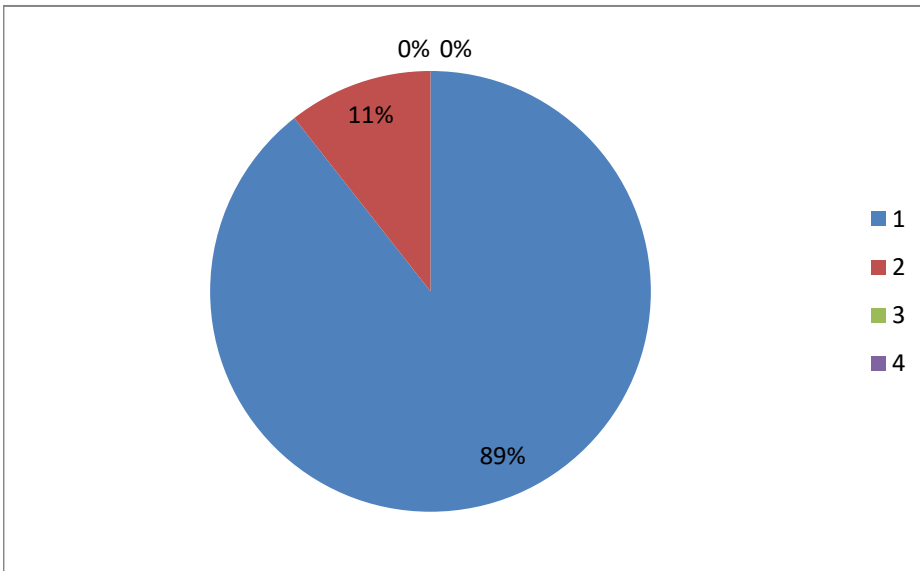
はい	11
----	----



どちらとも いえない	0
いいえ	0
無回答	0

平成29年度 愛ベリー放課後等デイサービス事業所  
保護者向け放課後等デイサービス評価表のまとめ

各項目の合計の割合



はい	177
どちらとも いえない	21
いいえ	0
無回答	0

各項目の合計の割合では「はい」が多くなっているようにみえますが項目によっては「どちらともいえない」が82%の項目もあります。

今後の取組等



- ・ ①・③の活動スペースとバリアフリー設備について

絵画やドリルなどの静活動を行う利用者は事業所内で活動し、運動プログラムや集団内での

社会性、協調性の充実を目標としている利用者は、借用している体育館で活動をしたり、外出し歩行を支援しました。また、防災センターや環境保護センターなどに行き体験学習をしました。それぞれの利用者にあった環境を提供し、密集した集団環境にならないよう対応しました。

1階は段差がありません。トイレ内に手すりを設置するなどの対応をしました。

2階は階段を上ることが必要です。階段を上り下りする際は、支援員が下に付き

- ・ ⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるかについて

他事業所や他機関などの他児童との交流は実施していませんが、社会性の構築や交流教育という視点から必要なことだと考えています。利用者や保護者の意向を踏まえ、他児童が多く利用している近隣の公園に行ったり、また活動場所として事業所だけではなく

、  
〆々々々々々々々の体育館をプーを借用しています。育休を期間中は、〆々々々々々々々の

- ・ ⑩保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているかについて

仕事をしていて忙しいなどの意見が多くあり、それぞれの保護者の事情や時間設定が難しいです。保護者懇談会などの連携については必要性も踏まえ検討しています。